

令和5年5月22日(月)

無言清掃

本校の清掃時間は一生懸命に取り組むことで必然的に無言になることから、実質無言清掃を行っています。作業時間は時々、校内の清掃の様子を見に行くこともあります。

その時、いつもは挨拶をしっかりとってくれるみんなも、ルールを守り、その清掃時間は、声を出さず、通り過ぎるときは無言で礼をしてくれる人も多くいます。

先生方も一緒に作業されており、先生方からの指示を受けて、仕方なく作業しているなどということはありません。誰かにやらされているという訳ではなく、しゃべらずに掃除することが当たり前になりつつあります。つまり、一生懸命に取り組むことで、必然的に無言掃除になっている人もいますが、もう一息だと感じています。

今年から清掃時間は体育服で取り組んでいます。両手を雑巾の上に乗せ、汗びっしょりになりながら、廊下などを拭いている生徒も多くいます。生徒の皆さんが一生懸命に取り組んでいる様子は、見ている気持ちがいいです。

たかが掃除と思う人が多いと思いますが、掃除がしっかりできるということは、何ができることに繋がっているのか、考えてみてください。そして、掃除が行き届いている学校は、どんな学校なのかも考えてみてください。

掃除ができるということは、本当にすごいことなのです。

さて、無言清掃の時間、ある作業区域を通ろうとしたとき、生徒の一人が「こんにちは」と挨拶をしてくれました。しかし、私は「しー」と指で口を塞ぎました。

私は挨拶をしてくれたその生徒に、「ありがとう。でもね、清掃時間は無言作業なので、会釈をしてくれるだけで十分です。」と伝えたかったです。